

事業所名	上高良野町発達支援センター		8名回答		公表日	R7年 3月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		・運動室の道具が多く、走りにくい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	・利用児、保護者の状況を配慮し、職員配置している。	・職員の産休・育休の場合の代替職員の補充。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・玄関やトイレ、室内はフラットで車いすに対応できるよう設計。 ・新施設の為、わかりやすい構造に設計、利用者または利用児が安心したバリアフリーの環境で適切に対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・清潔で過ごしやすい環境を心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・集団の苦手なお子さんに対して他児との接触時間を考慮し運動部屋など利用している。 ・利用児童が多いときや「か」をするために個室で利用できるような状況に応じて環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者交流会でご意見、ご要望等の聞き取りを行っている。 ・評価の結果は職員全員が確認し把握できるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	・職員会議や朝のミーティング等で機会を設けている。	・事前説明や意見について詳細に話し合い、確認を行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	・第三者による評価は行っていないが、保護者のご意見を検討し改善に努めている。	・第三者外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・地域療育支援、専門支援事業等を年数回実施を行い、専門性を高めている。 ・職員の資質の向上を図るため、講師を招き研修会を開催、外部からの研修会に参加できるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	13%	・R6年度に作成。作成に当たり職員同士で何度も見直しを行い、検討した。	・支援プログラムの作成を行い、R6年度内に公表する。 ・専門性のある内容を考慮した内容で今後も見直しを行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・アセスメントを行い、保護者と共通認識を持ち個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・お子様と関わりの職員同士で話し合いを行い、必要な支援について検討し作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画に基づき支援を行い、お子様の発達状況に応じて対応している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・発達状況を定期的に検査や日々の観察を記録で確認をしている。 ・保護者に承諾を得て、必要に応じて撮影を行い、検証をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・項目に合わせた必要な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・職員間で検証し、作成している。 ・ペアで実施時はそれぞれの課題に合わせて立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・研修で学んだ知識を活かし、利用児童の成長や特性に応じてプログラムを作成し、実践している。 ・児の様子をみながら興味のあるものを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・お子様の発達状況の把握に努めて支援を行うようにしている。 ・個別療育が主だが、年に2回小集団療育を行っており、他児との関わりについての支援内容も取り入れている。 ・ペア指導等を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・療育後は活動内容を職員間で話し合い、今後の支援に繋げている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	・内容について適した支援が行えていたかについて共有している。 ・何か特記することなどがあれば共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・療育内容の記録を残し、振り返りや改善へ繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的なモニタリングを行い、見直しを行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	・関係機関との連携を図っている。入園後の集団生活の様子については情報収集に努めている。 ・必要性のある情報は共有し連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・サービス担当者会議の参加や連絡を取り合うなど情報共有を図り、支援方針などについて共通した支援が行えるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	・就学前のサービス担当者会議に学校教諭に出席していただき、情報共有を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	・地域ではないが、療育に関するアドバイスをしていただけよう専門である講師を招いている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のごどもと活動する機会があるか。	13%	88%	・利用児童では年齢別集団指導を行い、他園と交流を図っている。	・就園しているお子さんが多いため、認定こども園、地域のお子様との交流ができていないので、検討していく。
	33	日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・日頃から共通理解を図るよう取り組んでいる。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・保護者向けの講演会や地域の講演をポスター等でお知らせしている。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に重要事項説明書で説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者の意向を聞き取りをした上で、支援計画を立案している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・支援計画を確認していただき同意いただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	13%	・療育時間内で保護者の方と常に話を聞き、相談に応じしている。状況に応じて、別日に調整し面談を行っている。	・保護者だけ来る日もあっても良いかと思う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・保護者交流会、療育講話、年齢別集団指導を行い、保護者同士の交流できる場を実施している。	・改めてきょうだい同士の交流は設けていない。 ・同じ曜日、時間帯の方だけの交流会になるので、違う曜日、時間の方たちとの交流ができると良い。
	40	ごどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・通信は毎月発行、HPも活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
43	障害のあるごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・環境設定や視覚情報を用いるなど、配慮を行っている。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	・ごども発達推進研修会を全町民に向け開催。	・新施設開館時にはオープン式を行い、見学会を開催したがその他に招待する機会を設けることがなく今後の課題として検討していく。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・マニュアルを策定し、訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	・保護者に聴取し確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	・指示書に基づく対応までではないが、事前に保護者から情報を得ている。 ・今年度は食育を行っていないが、保護者から適宜アレルギーについて聞き取りを行っている。	・食べ物の提供をしていないが、行事開催時で提供する場合は、確認を徹底し注意を払っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・安全計画を作成し、不審者対応訓練などを行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・利用開始時でご家族への説明を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハット報告書を職員間で共有し、危険と感じる事は随時、注意喚起を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修会に参加をしている。資料等を回覧を行い、共通認識を図っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	50%	50%		・計画に記載していないが、やむを得ない場合は保護者様に説明を行い、了承していただくことを努めていく。	